

大門議員、道議団が62項目を政府に要望

大門実紀史参議院議員は8月28日、真下紀子道議と道議予定候補の菊地よう子（小樽）、佐野ひろみ（札幌北区）両氏とともに、参議院議員会館で道民生活にかかわる国の来年度予算と重点課題について、各省庁に要望しました。森つねと道国政相談室長、紙智子参議院議員秘書も参加しました。

要望は経済産業省、防衛省、内閣府、文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省、厚生労働省、財務省に対して62項目にわたって行われました。

電気料金の値上げ案は撤回を

北海道電力が、昨年に続いて大幅な電気料金の値上げを申請している問題で、真下道議は経産省に「経済界も再値上げによる廃業・倒産を懸念している」と撤回を求めました。

経産省の担当者は「経営努力が十分なのか、審査会でも意見が出ている。しっかり審査する」と答えました。

佐野氏は子ども医療費の助成を求め、精神障害者のバス運賃割引について菊地氏は「事業者の経営努力だけでは進まない。国として財政措置を」と求めました。

森氏は、泊原発30^号圏内の自治体首長らが、避難計画の具体化で悩んでいることを紹介。大門議員が「各市町村の避難計画を具体的に把握するように」と強く求めました。

オスプレイの訓練移転を行わないこと、カジノを「成長戦略」から外すことなども求めました。公立の夜間中学設置の要望には、文科省から「何とか、やりたいと考えている」と前向きに取り組む姿勢が示されました。

真下道議、森氏、予定候補らが省庁と交渉



経産省、原子力規制庁（手前）と交渉する（向こう側右から）森、真下、大門、菊地、佐野の各氏＝8月28日、参議院議員会館

礼文島災害で緊急対応求める

北海道を襲った記録的な大雨の被害について、真下道議らは国土交通省に対して、災害復旧が迅速に行われるよう支援の強化を求めました。土砂崩れで2人が死亡した礼文町の事故現場は、「危険箇所」に定められていたものの、くわしい調査はされておらず、「警戒区域」の指定からはずれていました。要請では、危険箇所の調査費用の国庫負担割合を増額することや、早くトンネルの通行ができるよう求めたものです。

市民要求の実現を—札幌市議団が政府交渉

札幌市議団（井上ひさ子団長）は8月29日、大門実紀史参議院議員、森つねと道国政相談室長とともに、参議院議員会館で市民の願いを各省庁に要望しました。



政府側（左）と交渉する札幌市議団と大門議員（右中央）、森氏（右端）＝8月29日、参議院議員会館

参加したのは井上団長と宮川潤幹事長（道議予定候補・東区）、坂本きょう子（北区）、伊藤りち子（白石区）、小形かおり（中央区）、の各市議と、予定候補の池田ゆみ（豊平区）、太田秀子（東区）、かみや恭平（南区）、佐々木明美（手稲区）、田中啓介（西区）、吉岡ひろ子（清田区）の各氏です。紙智子参議院議員秘書も同席しました。

要望は厚生労働省、文部科学省、経済産業省、内閣府、国土交通省、財務省、総務省、法務省に対して、57項目にわたって行われました。

ブラック企業の根絶について、厚生労働省の担当者は「法令違反が疑われる企業には指導を行い、従わなければ刑事事件として扱う」と述べました。

無料・低額診療事業の対象に保険調剤薬局も加えるよう求めたことに対しては、「実効性ある対応を検討する」と前向きな回答をしました。